

- 1 だいちくは、一きようめに、学校・学年・組 名まえは一きようめに書き、文しうは、三きようめの二ばんめのマスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、一字きけて書きはじめ、だんらく(と)にきようをかえましよう。
- 3 詩や文は、どのきようも三ばんめのマスから書き、あたまたをそろえましよう。

( ) 月 日 曜日

自分の考えを大切にす町づくり

ぼくが今一番やりたいことは、たれかを「あえしなさい」「マアしなさい」と言わねることがなく、自由に時間を使うことです。ぼくの毎日は、五時までしか遊ぶません、で五時からひまかと言えば、勉強をもなく、はいけないのでひまではありません。

そこで、ぼくは自分の考えを大切にす自分の行動を決めることが出来る町にしたい

と企画を考えました。

一つ目は、学校に行くか、行かないかの選択を自分でします。ぼくは決まりで決まってるから行くのではありません、将来の順序に入りたいので、もちろん「学校に行く」を選択びます。そのためには、アインシュタインみたいに物理や数学が必要ですが、かから勉強したいので、学校に行きます。

二つ目は、遊ぶか遊ばないかの選択です。もちろん「遊ぶ」を選択します。でも考えたり

- 4、と、は、それぞれ一字にかき、一マスの中に書きましよう。
- 5 おはなしたところは、「」の中に入れて、おはなしたところを書きましよう。



- 1 だいまくは、一きようめに、学校・学年・組、名または二きようめに書き、文しよは、三きようめの二ばんめのマスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、一字さげて書きはじめ、だんらくしよにきようをかましよう。
- 3 時や文は、どのきようも三ばんめのマスから書き、また書きかえよう。

つまり視点を交えれば「遊ぶ」とは、「遊ぶ」ことだと気づきました。たとえば「おにぎり」を食べていては相手の行動から予想して、「ど」うしたら体力をあまりしましよるものはないで、逃げられるがを考へることだてまます。以前やっていたフットサルも、頭脳作戦で相手がらボールをよばったり、攻げをくい止めたりしました。

ただ考へないといけないのは、そこで当人だことを身体で覚えただけでなく、ノードに総や国、荒がグイフなどにメモしておくことが大切です。漢字ドリルしなくても、書けたり読めたりする場合は、その中ぶだんから便ふよりにすれば勉強になります。

三つ目は、五時までは友だちと遊べて、五時以降は遊ばないという決まりです。これは家で母が決めたルールです。ぼくは、おっくらなのがいなかだから、そのルールに素直に回たがっています。でも、ぼくの考へる所なら「ルールは家族で話し合って、みんなが納得

4、と、は、それぞれ一字にかきかえ、一マスの中に書きましよう。  
5 おはなしたところは、「」の中に入れてきようをかえて、おはなしだけを書きましよう。



- 1 だいたくは、一きようめに、学校・学年・組、名まえは二きようめに書き、文しよは、三きようめの二ばんめのマスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、一字きけて書きはじめ、だんらくしよにきようをかましよう。
- 3 詩や文は、どのきようも三ばんめのマスから書き、あたまをそんえましよう。

月 日 曜日

「得びさるものを決めます。ぼくは一人の子  
 なのので、今のままでは不利です。子どおの立  
 場の意見を聞く子どお会議を、町が開いてく  
 るからいいなと思ひます。名付けて「子どお  
 の目、親の目」会議を企画。子どおもたおの代  
 表へもちろんぼくも入ります。20人と親20人  
 が集まり、て、意見を出し合ひます。デイバ  
 ーにする方法も、先生に教えてもらひました。  
 正解がないものを話し合ふ方法なので、おも  
 しろい方法だとおもひます。

こっ人なふり思考すると、おくおくしまさ、  
 からせえるとイヤだと思ひますが、自分で考  
 えると、前向き取り組めます。自分からかり  
 たくなつて、一石二鳥です。ぼくの考える自  
 分の考えを大切にする町をつくりたいです。

4 と、は、それぞれ一字をかき、マスの中に書きましよう。  
 5 おはなしたところは、「」の中に入れてき、よをかえて、おはなただけを書きましよう。